

Keep Learning

～大志を抱け！～

江戸川区立平井小学校
校内研究だより No.1
令和2年10月8日（木）
研究推進部

『Keep Learning～大志を抱け！～』は、本校が進めている校内研究を保護者の皆様にご紹介するための研究便りです。研究授業や普段の授業での子供たちの様子等をお知らせしていきます。

「児童一人一人が自ら課題をもち、解決を目指す体育学習」

校内研究を行うにあたり、年度当初に1年間研究していく教科と研究テーマを設定します。今年度の教科は、昨年度に引き続き「体育」です。研究テーマは「児童一人一人が自ら課題をもち、解決を目指す体育学習」です。突然ですが保護者の皆様は、小学生の時にどのような授業を受けてきましたでしょうか？先生から「今日はソフトバレーボールをやります。今日はまず、レシーブができるようになりましょう。レシーブのポイントは・・・。」というような課題を与えられる授業を思い出される方も多いのではないのでしょうか？私もそうでした。しかし、今年度の研究で我々が目指している授業は、子供一人一人が「私は〇〇を意識して取り組みたい！」と自ら課題をもつような授業です。つまり子供達の「主体的な学び」を実現していくことです。

では、主体的な学びとはどのような学びなのでしょう？

●主体的な学びとは？

- ・学ぶことに興味や関心をもつ
- ・自己のキャリア形成の方向性と関連付ける
- ・見通しをもつ
- ・粘り強く取り組む
- ・自己の学習活動を振り返って次につなげる

（文部科学省 国立教育政策研究所）



上記のような視点が子供の姿として現れてくるように今年度の校内研究を始め、普段の授業の中でも意識して実践していきたいと思います。

裏面に続きます

●6年生 研究授業！！

9月25日（金）に今年度最初の研究授業（ソフトバレーボール）に6年生が取り組みました。全員の児童がソフトバレーボールを「楽しい！」「もっとやりたい！」と感ずることができるように通常のルールを変更して3回ボールを触る中で、キャッチを1度だけしてもよいというルールの工夫を行いました。

●学ぶことに興味や関心を持つ姿



また、子供達一人一人が「アタックができるようにする」「3回で返せるように役割分担をする」「チームワークを高める」といった、解決したい課題をもちました。そして、ただ取り組むだけではなく、課題が解決できたのか体育ノートに振り返り、次の学習につなげようとする姿が見られました。

こうした学習を繰り返し行うことで、主体的に学習に取り組む態度を育てていきたいと思います。

第4時

学習課題

ポジション、パスの順番を決める

理由

2回で返すことが多く3回で返すためには順番を決めれば返せるのではないかと考えたため
パスの順番を決めることにしました。
その順番通りにするときにポジションを決めれば
やりやすいと思い、決めようと思いました。

振り返り

・1時間の自分の学習を振り返って、学習課題は解決できたか分かるように書く。

1試合目ピンクとやったときに、キャッチミスや
線を出てしまったりして8-8の同点でした。
少しキャッチ→レシーブ→アタックの練習をして
2試合目水色とやり、その時は相手のミスで
点数が入り、アタックはしたけれどアウトになったりして
失敗が多かったです。8-9で勝ちました。

⑤ ④
作戦タイムで学習課題のポジション、パスの順番を
決め、キャッチ→トス→アタックの練習をしたら
とても上手くいったので良かったです。

●自己の学習を振り返って次につなげる姿

第5時

学習課題

~~決めた順番で練習をする~~
~~決めた順番をかんぺきにする~~

~~決めた順番で練習をせず本番をしてしまうや~~
~~失敗などもあることがあるので~~
~~練習をした方が良かったから~~
かんぺきにしないと試合で失敗するから